

信州 小諸

城下町&文学のめぐり道 map

- おすすめ歴史ポイント
- 代表的な歴史建築 (★ 屋営業の飲食店)
- ▲ 眺望がよいところ ● 公園
- 江戸～昭和初期の商家・蔵 (旧街道周辺)
- 城郭・武家地を囲む古い石垣
- 天然の谷をいかした空堀 ■■■■■ 崖
- WC トイレ ● 無料休憩所 ● 無料休憩所
- 🅐 駐車場 🅑 無料駐車場
- 旧北国街道(ほっこいかいどう) — ●●●●● おすすめの散策路

駅からのおすすめ回遊コース (1時間半)
 (歴史ポイントをつなぐコース。歩く時間のみなら、40分程度です。)
 小諸駅 → 小諸本陣 → 本陣問屋 → ほんまち町屋館 → 光岳寺 → 許久商店 → 海応院 → 藤村旧居跡 → 大塚酒造 → 大手門 → 小諸駅
 (ちょよと足をのびして、与良までどうぞ!!)
 許久商店 ~ 高濱虚子記念館 約10分

駅からの距離 本町エリア (町屋館) 7分、荒町エリア (海応院) 10分、
 与良エリア (虚子記念館) 20分
 タクシー会社 小諸観光・0267-22-2424/ニュー交通・0267-22-0015
 観光のご案内 観光案内所 (小諸駅前) 0267-22-0568



鍋蓋(なべぶた)城跡。この一画は、戦国時代に作られた小諸初の平山城の跡。江戸時代は、家老の屋敷で、両側には町人地との境の木戸があった。街道を曲げて、城に入りやすくした構造は城下町ならではの、昭和になって、城跡を突っ切って道を通した。

古い時代の街道(東山道)で、歴史的な雰囲気がある。江戸時代に北国街道が整備され、表通りに街道が移った。

アンワイナリーステイ&北国街道麦酒 2024年内にビール工房がスタート。ワイン、シードル、ビールを販売予定。

市の名勝 **小諸城址 懐古園** 全国的にも珍しい城下町より低い穴城で、藤村の「千曲川旅情の歌」に詠われた全国的に有名になりました。昔むした石垣、千曲川の眺望はすばらしく、春の桜、秋の紅葉の名所としても有名です。(料金は裏面を参照)

武田信玄が礎を築いた小諸城は、背後を千曲川の断崖、脇を天然の空堀(谷)で守られた、風情のある城です。

せせらぎの散歩道 (コースタイム20分)

六供(ろくく)、田町は、街道を取り巻く寺町。中沢川に沿って歩く古い町並み、緑や石垣、レトロな橋のデザインが楽しめます。

長屋門の町並み昔は、この門の中に農具等を入れていた。

六供の清水

寺町めぐり

街道を囲むように、たくさんの寺社が並んでいます。まちの裏側、大木に囲まれた緑の小径は、通りとは違った静けさややすらぎがあります。

成就寺

虚子の散歩道 (コースタイム20分)

高濱虚子が小諸にいたころ、朝に夕に散歩し俳句を詠んだ小径が昔の雰囲気のまま残っています。(明治時代、島崎藤村も「千曲川のスケッチ」でこの素朴な田園風景を描いています)街道から一歩はいると、お堂や石仏、りんご畑、清らかなせせらぎにいやされる小径があります。坂の上には、虚子の愛した浅間や蓼科の山並みが広がります。『その馬頭観世音のところから更に岐れた径を行くと、小さな流れに出る。その流れに沿って一軒の水車小屋がある。その水車小屋に住んでる人とはいつからか知合ひになってその縁に腰をかけて話をする。その主人は煙燻の座布団を改めて頻りに「お祭りなんして」とすすめてくれる。』高濱虚子・小諸雑記より

虚子の散歩道

虚子の散歩道 与良・俳句のまちエリア

至澤の家跡 昔水車小屋があった。虚子がよく訪れた。

野岸田んぼ 美しい田園風景と浅間連峰

お堂や石仏など庶民的で素朴な、歴史あるお寺

ご家族がお住まいですので、門からの見学をお願いします

荒町おしゃれエリア

禅宗の寺らしい、く字型に曲がった威厳ある参道。境内には見どころ多し。

海応院

荒町おしゃれエリア

商家の町並み・本町エリア

本町は、古い商家の町並みが残り、骨董屋、呉服屋、味噌屋などをのぞいて歩く楽しさもあります。島崎藤村が住んでいた場所やゆかりの井戸の跡を巡ることができます。

北国街道 ほんまち町屋館 (無料) 味噌と醤油の醸造元だった建物を活かして現在は、地区のコミュニティ施設として様々な催しを開催。有形登録文化財 ★HPあり 開館時間 4月~10月 9:30~16:30 11月~3月 10:00~16:00 月火曜休館 Tel: 0267-25-2770

島崎藤村が住んでいた場所 明治32年から6年間、この場所に住んでいました。藤村の家は、今は残っていません。

荒町おしゃれエリア

商都を象徴するような大きな商家やレトロな建物が点在するエリア。最近では古い建物再生のおしゃれな飲食店も増えてきました。

- 許久商店 山吹味噌で有名な味噌醸造元。江戸時代の店蔵、門、屋敷が残る。店はおみやげも充実。 営10:00~18:00 水曜定休
- デリカテッセン山吹 自家製ハムソーセージ専門店。店内で飲食も楽しめる。 営10:00~18:00 水曜定休
- 彩本堂 盆栽と一緒にサイフォンコーヒーを楽しめる専門店。 営10:00~17:00 木曜定休
- チッタスロー ビザ&バスタ (与良) 漆喰と木の空間。本格ビザ釜のある店。 営11:30~15:00/17:30~21:00 火曜定休

与良・俳句の町エリア

与良には大変古い時代の庄屋や豪農の屋敷が残り、坂道を登っていけば山並みの見渡せる美しい田園風景が広がっています。「虚子の散歩道」沿いには、お堂や石仏などが点在し、城下町でありながら農村のような風景を楽しめる地区です。島崎藤村も高濱虚子も、このあたりで出会う人たちの素朴な人柄を好んで作品に描いています。与良館では、今もそんな与良人に会うことができます。

高濱虚子 (たかはまきよし)

虚子庵・小諸高濱虚子記念館 (12月~3月末・冬季休館) 虚子は、正岡子規に師事し、新派俳句の俊秀として活躍、俳誌「ホトギス」を主宰した。戦争中の昭和19年から3年1ヶ月の間、与良に疎開。この「虚子庵」に暮らし、句作に励んだ。記念館には、直筆の屏風や愛用の品々が展示されている。 水曜休館/9:00~17:00 / Tel:0267-26-3010 / 入館料300円(虚子庵は見学無料)

こもろ高濱虚子記念公園・北国街道与良館(主屋) 虚子ゆかりの商家屋敷を保存再生した公共施設。主屋は幕末の建物で、小諸城の銭蔵も移築されている。地域の人のたまり場で、観光客も歓迎。 火曜休館/9:00~17:00 / Tel:0267-23-8040

江戸時代にタイムトリップ・大手門・本陣エリア

駅周辺は、江戸時代は小諸城内でした。駅のすぐ近くには、城の入り口である立派な大手門が残り、その周辺の城址は大手門公園となっています。大手門公園を北側に進むと、北国(ほっこく)街道の通りに出ます。

江戸時代、佐渡の金や大名行列が通った北国街道沿いには、江戸時代の宿場施設である「問屋場」と「脇本陣」が残っています。また「本陣」は大手門公園内に移築復元されています。宿場施設が揃っている町は、全国でも希少です。

●大手門(国の重要文化財) 江戸初期に仙石秀久が築造。1階は堅牢な門、2階は書院風のつくりで、桃山時代の雰囲気を感じ。2階には、城と門にかかわる展示がある。2階公開期間:4月上旬~11月上旬の土日祝日 展示台からは、千曲川が一望

●脇本陣の宿 桑屋(くめや) 江戸時代、大名行列の藩の家老などが宿泊したのが脇本陣。行列が重なった時には位の低い大名の本陣となった。看板、出梁造りなど江戸の旅館の外観をよく残し、小屋根のついた貴人用の玄関に格式を感じる。奥には、本格的な書院づくりの離れを持つ。明治以降も、商都小諸で人気の旅館として賑わった。空き家だったものを小諸市が取得、令和元年夏に旅館として再オープン。音の旅館での宿泊体験が楽しめる。 ●茶屋くめや(喫茶・おにかけうどん・そば) / 11:00~16:00/火・水曜定休/冬季休業 ●宿泊は、木、金、土、日/2名1室11,550円~ 要予約 / Tel: 0267-27-1482

商家の町並み・本町エリア

●北国街道 ほんまち町屋館 (無料) 味噌と醤油の醸造元だった建物を活かして現在は、地区のコミュニティ施設として様々な催しを開催。有形登録文化財 ★HPあり 開館時間 4月~10月 9:30~16:30 11月~3月 10:00~16:00 月火曜休館 Tel: 0267-25-2770

●島崎藤村が住んでいた場所 明治32年から6年間、この場所に住んでいました。藤村の家は、今は残っていません。

城下町めぐりスタンプ

スタンプのマークのある場所にスタンプが置いてあります。4つ集めると観光案内所でプレゼントがもらえます!

那須野整骨院 9時~17時

ほんまち町屋館 9時~17時(冬10時~16時) 月火曜休館

許久商店 水曜定休

高濱虚子記念館 9時~17時(水曜日休館/冬季休館)

発行:(一社)こもろ観光局 第14版 2024年10月1日発行(10000部) 10000.013.B.2024.10.01 384-0031 長野県小諸市大手1-6-16 Tel:0267-22-1234 URL:https://www.komoro-tour.jp 編集:NPO法人小諸町並み研究会 URL:http://www.machinami.komoro.org/ 編集デザイン:荻原礼子

